

甲斐市議会 決算審査特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和4年11月7日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（16名）

| | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 小澤重則君 | 副委員長 | 秋山照雄君 |
| | 若尾彰子君 | | 安倍健治君 |
| | 保坂康君 | | 樋口孝之君 |
| | 伊藤毅君 | | 加藤敬徳君 |
| | 谷口和男君 | | 清水和弘君 |
| | 金丸幸司君 | | 滝川美幸君 |
| | 松井豊君 | | 長谷部集君 |
| | 内藤久歳君 | | 藤原正夫君 |

欠席委員（1名）

金丸寛君

傍聴議員（2名）

議長 赤澤厚君 監査 山本英俊君

職務のために出席した者の職氏名

| | | | |
|--------|-----|----|------|
| 議会事務局長 | 山田洋 | 書記 | 森田公 |
| 書記 | 池上恵 | 書記 | 長田大地 |

審査内容

- 1 令和5年度予算編成に向けての要望について
- 2 その他

開会 午前 9時28分

○書記（池上 恵君） おはようございます。

ご参集大変お疲れさまでございます。

それでは、ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶、小澤委員長よろしく申し上げます。

○委員長（小澤重則君） 改めまして、おはようございます。

お隣、韓国梨泰院では、大きな事故が起こったようでございます。また、最近木々を見ますと、色づいてきまして、秋を感じるような季節になってまいりました。

それでは、始めさせていただきたいと思えます。

ご参集大変お疲れさまでございます。

それでは、ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、令和5年度予算編成に向けての要望についてご協議をいただきます。よろしく願いいたします。

ただいまの出席委員は16名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員は欠席の連絡がありましたので、報告いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

○委員長（小澤重則君） これより次第の3、内容に入ります。

令和5年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会において取りまとめをしていただき、お手元にお配りした要望書（案）のとおりであります。

初めに、1ページの前文を事務局に朗読させます。

池上書記。

○書記（池上 恵君） それでは、要望書（案）の1ページをお願いいたします。

前文を朗読いたします。

甲斐市議会においては、昨年度に引き続き、決算審査特別委員会での審査結果を基に「令和5年度予算編成に向けての要望書」を提出することとなりました。

令和3年度決算において、歳入では、地方交付税について前年度と比較して15.7%の増額となっており、国の補正予算に伴う普通交付税の追加交付や、国政調査人口の増などが関係しています。

また、歳出では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が前年度より2.4%増加しており、少子高齢化の進展などにより、今後の財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれ、変化に対応した事業の取捨選択と整理統合により、計画的な事業の推進が必要となっています。

決算審査特別委員会では、決算審査等で出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致を見ました3事業について要望させていただくことといたしました。

については、本要望書を参考にしていただき、より効果的な新年度予算編成と施策の推進に取り組まれることを要望いたします。

甲斐市長 保坂 武様。

甲斐市議会 決算審査特別委員会
委員長 小澤重則

朗読は以上になります。よろしくお願いいたします。

○委員長（小澤重則君） ありがとうございました。

次に、総務教育常任委員長より順次報告をお願いし、その後、協議をしていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

それでは初めに、清水総務教育常任委員長よりご報告をお願いいたします。

清水委員長。

○総務教育常任委員長（清水和弘君） それでは、総務教育常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

デジタル化推進事業について。

国のデジタル田園都市国家構想では、デジタルインフラの整備を推進するとしている。市の北部地区は、御岳古道をはじめ、日本遺産にも登録されたことから、今後、観光面においても需要が期待されているが、整備が行き届いておらず、今後のデジタル化の推進において、日常生活でインターネットを活用した観光情報などの情報発信や取得、学校教育におけるオ

ンライン授業など、情報通信の基盤となるインフラ整備が必要である。

また、行政機能においても、非接触による業務を可能とするための一層の環境整備、業務の改善や働き方改革による生産性の向上に向け、引き続きペーパーレス会議やウェブ会議の推進、また、窓口業務や決裁業務のデジタル化を導入する必要性があることから、令和5年度の予算拡大を要望する。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（小澤重則君） ありがとうございます。

次に、金丸幸司厚生環境常任委員長より報告をお願いいたします。

金丸委員長。

○厚生環境常任委員長（金丸幸司君） それでは、厚生環境常任委員会で取りまとめをしました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

子宮頸がん対策費用の予算拡大について。

子宮頸がん対策が進んでいるオーストラリアでは、長年のワクチン接種と子宮頸がん検診の促進事業により、2028年には撲滅されると予測されている。

我が国では、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が差し控えられていた期間は約9年になる。その期間の影響を回復させるため、専門家による最新情報、動向などをワクチン業務に関わる職員、接種する女子児童・生徒の相談先に対して、研修の提供、接種する女子児童・生徒、保護者、キャッチアップ接種対象者に子宮頸がんワクチンと子宮頸がんの検診の理解促進、普及、受診勧奨をこれまで以上に進めていく必要がある。

よって、子宮頸がん対策費用の予算拡大を要望する。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（小澤重則君） ありがとうございます。

最後に、長谷部建設経済常任委員長より報告をお願いいたします。

長谷部委員長。

○建設経済常任委員長（長谷部 集君） それでは、建設経済常任委員会で取りまとめをしました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

局地的大雨と集中豪雨に対する対策費の増額について。

毎年、異常気象が続き、本市においても、夏の時期を中心に局地的大雨が頻繁に起きている。また、発生回数、雨量ともに年々想定外の量になっており、地域住民が床下浸水など被害を受けている状況である。

本市でも、局地的大雨や集中豪雨に対する調査研究を行い、生活水路等を複数年で改修する計画や、高岩頭首工の自動制御や学校校庭貯留など研究を行っていることは承知をしているが、既に状況は喫緊の課題解決が必要である。

特に、局地的大雨や集中豪雨による洪水発生時にリスクが大きいとされる下流区域の市民が安心して生活できるよう、積極的な調査を実施するとともに、河川や水路の早期改修等、課題解決に向けた、今までの予算をはるかに上回る実践的予算増額を強く要望する。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（小澤重則君） ありがとうございます。

以上で報告が終わりました。

質疑及び意見等がありましたらお願いします。

意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小澤重則君） ないようですので、それでは、令和5年度予算編成に向けての要望についてをお諮りいたします。

要望書に記載のとおり、提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小澤重則君） 異議なしと認めます。

よって、令和5年度予算編成に向けての要望については、要望書に記載のとおり決定いたしました。

なお、市長への要望書提出については委員長一任とさせていただきたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小澤重則君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で令和5年度予算編成に向けての要望についてを終わります。

次に、（2）その他に入ります。

委員の皆様からありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（小澤重則君） 事務局よりありましたらお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小澤重則君） ないようですので、その他を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了しました。
これもちまして、決算審査特別委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉会 午前 9時38分